令和８年度 和歌山県立文書館

山青し 海青し 文化は輝く
きのくに文化月間
令和8年11月1日(土)～11月30日(日)

歴史講座

文書館寄託の古文書『岩﨑家文書』、『岡本家文書』を活用した和歌山県に関する歴史講座を開催します。

第1回

11月14日(土) 13:30-15:30

近代の和歌山における学校生活

―授業案・教科書・校友会誌から―

講師　和歌山県立文書館 副主査　　西山 史朗

日中戦争に至るまでの和歌山における学校生活がどのようなものだったのか、当館寄託の『岩﨑家文書』（和歌山市紀三井寺）に伝わった授業案・教科書・校友会誌といった教育関係の資料からみていきます。



『岩﨑家文書』（和歌山県立文書館寄託）

第2回

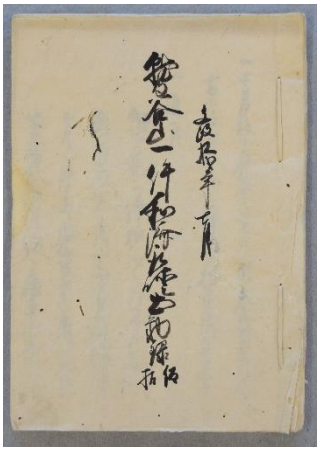
11月21日(土) 13:30-15:30

曖人(あつかいにん)岡本忠太夫(おかもとちゅうだゆう)まいる

―200年前の山論仲裁一件―

講師　和歌山県立文書館 主査　　砂川 佳子

今から200年前の文政９年（1826）、紀州藩領柴目村と高野山寺領志賀野庄（ともに現紀美野町）では、領地の境界と山林資源の利用をめぐるあらそいに決着がつき、和解しました。曖人（あつかいにん）として仲裁した岡本忠太夫と新次郎親子の活動を当館寄託の『岡本家文書』（紀美野町福田）からみていきます。


『岡本家文書』（和歌山県立文書館寄託）

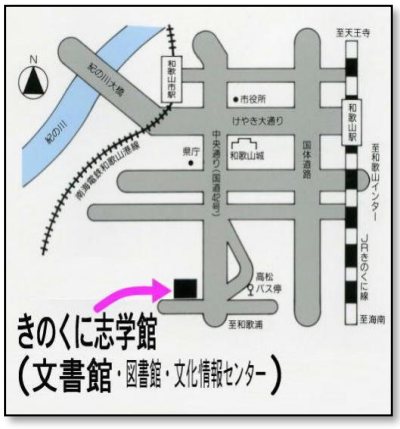
定員等　**各回９０名（先着順）、受講無料**

＊定員になり次第、締め切ります。ただし、定員に空きがある場合は、当日会場において参加を受け付けます。

会　場　**きのくに志学館２階　講義･研修室**

（和歌山市西高松一丁目７－３８）

＊**アクセス**　ＪＲ和歌山駅・南海和歌山市駅より和歌山バス（県庁前経由和歌浦方面行き乗車約20分）高松バス停下車 徒歩約３分



＊申込方法等は裏面をご覧ください。

申 込 方 法

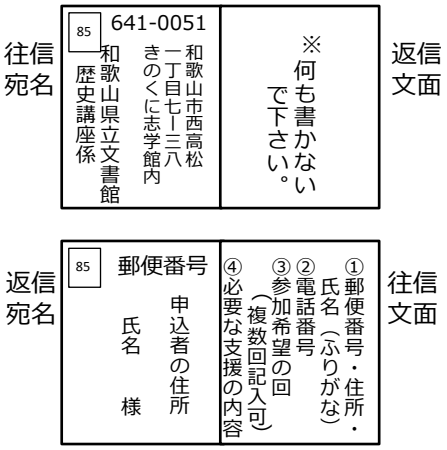
Eメール又は**往復はがき**に必要事項を記入し、文書館宛てお申し込みください。

●**Eメールで申し込む**場合は、

①郵便番号・住所・氏名（ふりがな）
②電話番号
③参加希望の回（複数回記入できます）
④必要な支援の内容※

を明記して文書館メールアドレス
（e0221011@pref.wakayama.lg.jp）宛て送信する。

●**往復はがきで申し込む**場合は、右のように明記して
文書館宛てに送付する。
なお、**170円の往復はがき**を使用する。



※**必要な支援**：障害等があり、受講の際に支援が必要な方は、その内容を記入してください。
手話通訳・要約筆記を提供できます（要申込み）。

申込締切

令和８年１１月１２日（木）（必着）

＊手話通訳・要約筆記の申込みは、第1回は10月29日（木）、第2回は11月5日（木）までにお願いします。

受講の注意

・申込み受領後、受講者には受講票としてEメール又は返信はがきを送付しますので、受講時に持参してください。
なお、１１月１３日（金）までに受講票が到着しない場合は、文書館まで御連絡ください。

・各回、当日１３時から受付を行います。

・駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関で御来館ください。

・講座開催当日の午前９時時点で和歌山市にレベル3大雨警報、レベル3土砂災害警報、暴風警報、大雪警報、暴風雪警報以上のいずれかの防災気象警報が発表されている場合は中止します。



申込み・問合せ先 ： 和歌山県立文書館　歴史講座係
〒641-0051　和歌山市西高松一丁目7-38 きのくに志学館内
TEL：073-436-9540　　FAX：073-436-9541
Eメール：e0221011@pref.wakayama.lg.jp